



J3参戦 技磨く

福島U キャンプ始動

今年新設されるサッカーのJ3に参戦する福島ユナイテッドFCは1日、神奈川県平塚市でキャンプをスタートさせた。15日までで、3月9日の開幕戦に向けて戦力強化を図る。

先発争い 選手しのぎ

事業提携を結ぶJ2湘南ベルマーレのホームで始動した福島ユナイテッドの選手らは、初日は湘南キャンプらしく砂浜で始動した。午前と午後の2部制で練習し、午前中は澄みきった青



空の下、基礎体力トレーニングに精力的に汗を流した。

負荷が掛かる砂浜で何度もダッシュを繰り返すなど、ランニングメニュー中心の練習に取り組み、加入4年目のMF石堂和人選手(31)は「最初からきつい練習だったがいよいよ雰囲気の中で取り組めた。若い選手には負けたくない」と力を込めた。

監督「基盤づくりを」

今季から指揮を執る栗原圭介監督(40)が「キャンプの終わりのころには(先発)メンバーを固めたい」と語るように、期間中は激しいレギュラー争いの場となるため、初日から熱気に包まれた。栗原監督は「諦めずにチャレンジする選手の姿勢を見ていきたい。守備と攻撃の形を確認し、チームの基盤をつくる」と意気込みを語った。

キャンプではトルコキャンプ中の湘南ベルマーレの練習場「馬入ふれあい公園サッカー場」を拠点に練習が行われる。同じくJ3に参戦するY.S.C.C.横浜のほか、国士舘大などの練習試合も予定。

▲砂浜でトレーニングに励む選手たち―神奈川県平塚市